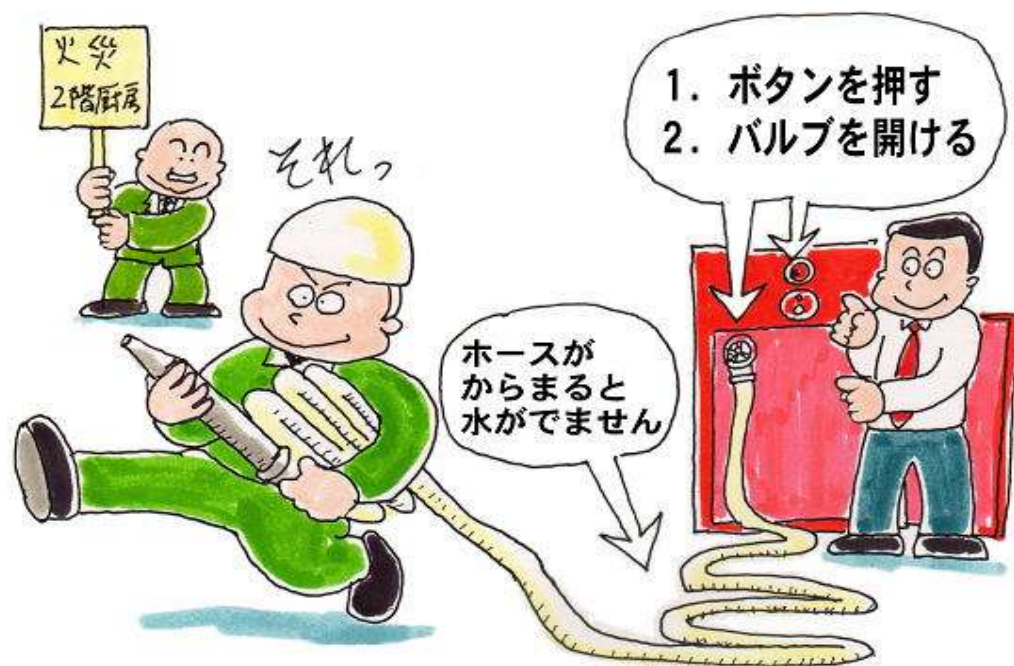
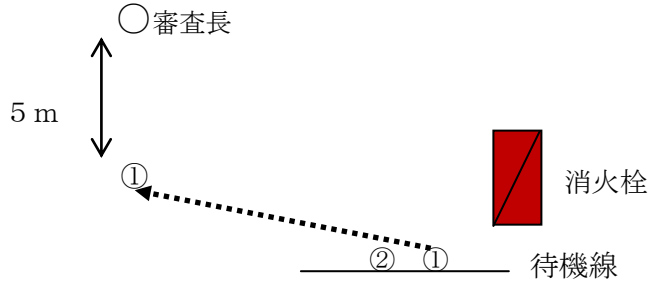
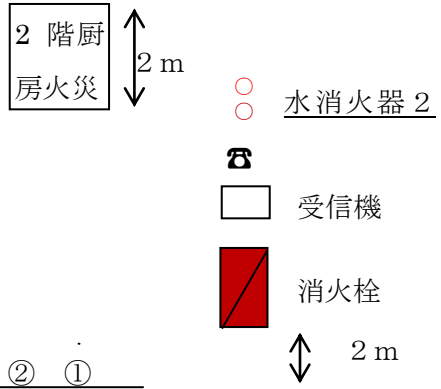
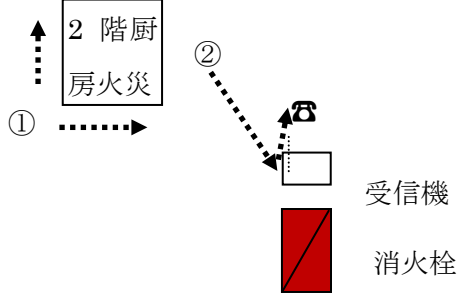
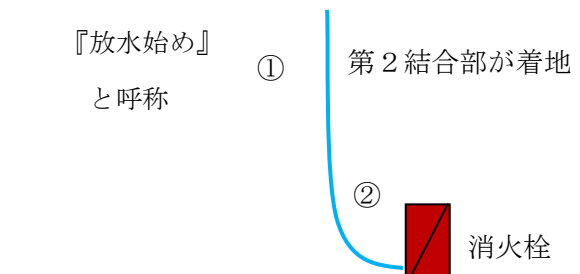
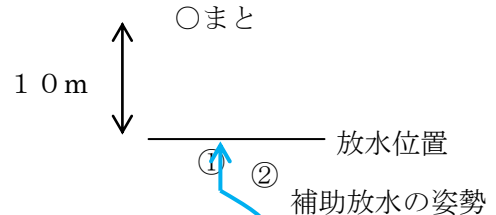
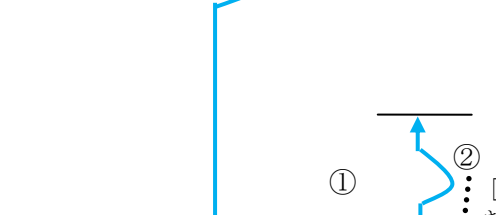




屋内消火栓（二人操法） 操法要領



佐賀市防災協会

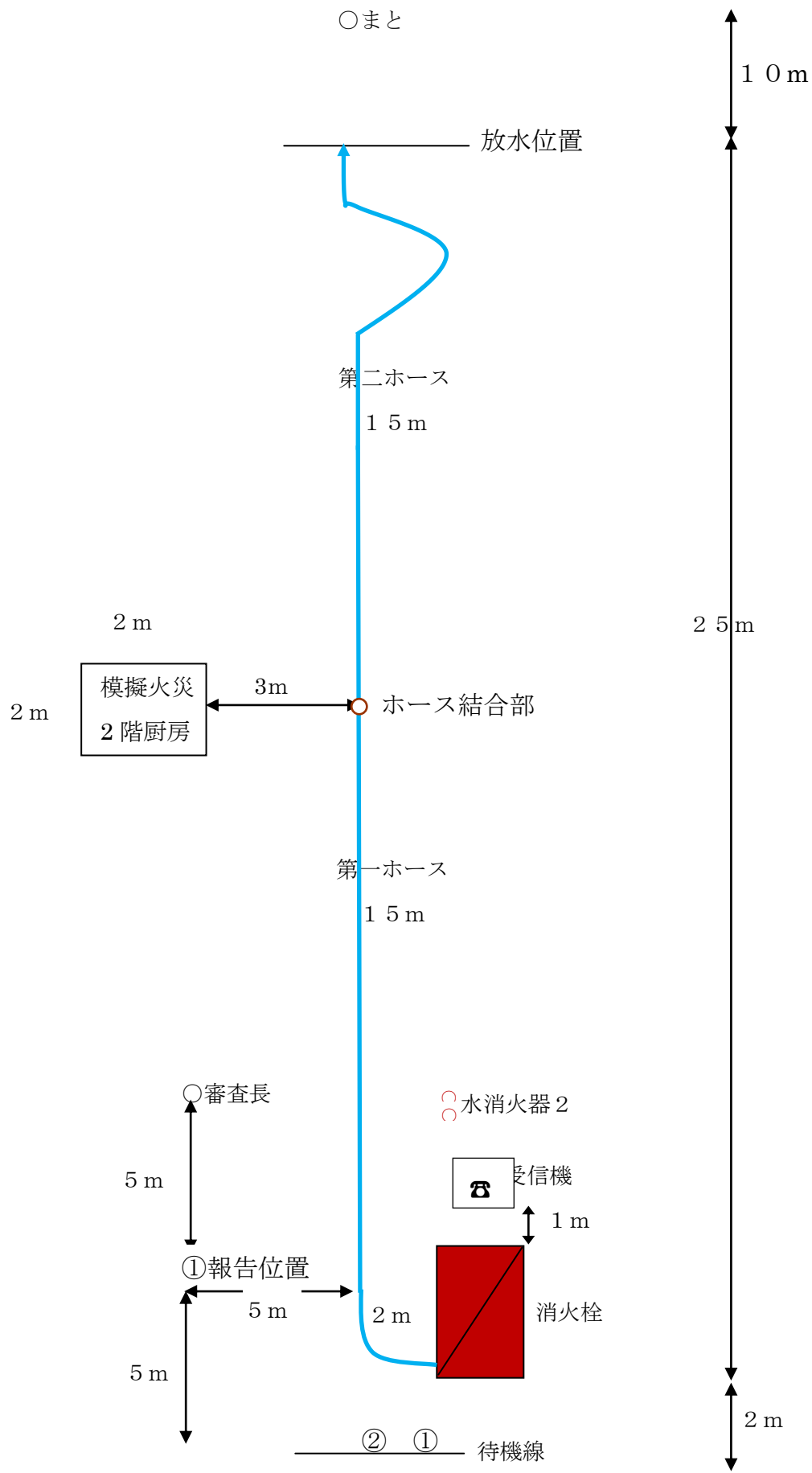
実施事項	1 番 員	2 番 員	備 考
集 合	<p>待機線に集合して「休め」の姿勢で待機する。</p> <p>審査長が手を上げると、『気をつけ』と号令をかけ報告に行く。</p> <p>審査長の5 m手前で敬礼し次の報告をする。『〇〇〇自衛消防隊ただ今から初期消火訓練を行います。』と報告した後、待機線に戻り待機する。</p>	<p>待機線に集合して「休め」の姿勢で待機する。</p> <p>1番員の『気をつけ』の号令で気をつけする。</p>	
操法開始（自動火災報知設備の受信機を鳴動させると同時に審査長が警笛を鳴らす。）	<p>警笛の後『操作始め』と号令する。</p> <p>仮設に設けられた自動火災報知設備の受信機に急行（1番員が先行）し発報区域を確認する。『2階厨房発報』と大きな声で指差し呼称し、近くにある水消火器を持って発報区域に急行する。（1番員が先行）</p>	<p>1番員の『操作始め』の号令で『よし』と呼称し、仮設に設けられた自動火災報知設備の受信機に急行（1番員が先行）し発報区域を確認する。</p> <p>1番員の呼称で『2階厨房発報』と復唱し、近くにある水消火器を持って発報区域に急行する。</p>	
通 報	<p>発報区域に至り火災区域を確認した後、2番員に『火災確認』と告げ、更に『119番通報』と号令する。</p> <p>水消火器で消火にあたる。</p>	<p>1番員の『119番通報』の号令を受けた後、『よし』と呼称し消火器をその場に置いて『〇〇ゾーンが火事だ!』と2回周囲に連呼し、受信機に急行して自動火災報知設備のベルを止めた後、電話器を取り119番を押し、現場の住所、事業所名、出火箇所、氏名、電話番号をはっきりと話す。（この場合の電話対応はしない。）</p> <p>現場に戻り、『通報おわり』と1番員に報告する。</p>	
消 火	<p>消火器を約15秒間、秒数（1から15まで）を数えながら消火する。2番員が戻って来るまでに15秒を過ぎたら次の消火器で消火する。</p>		

<p>消火栓操法 開 始</p>	<p>2番員が戻ってきて『通報おわり』の報告後、消火を止め、『屋内消火栓に切り替え!』と2番員に号令をかける。 屋内消火栓に至り、1番員は筒先と第2ホースを担当する。</p>	<p>1番員の『屋内消火栓に切り替え!』の号令を受けた後、『よし』と呼称し2番員が先行して屋内消火栓に至り、起動ボタンを押し、(ベルが鳴動)『発信機よし』と指差し呼称し扉を開ける。 第1ホースと開閉コックを担当する。</p>	
<p>ホース延長</p>	<p>筒先とホースを取り出し、筒先を下にしてわき下にかかえ込み、2番員の『よし』の合図で火点に出発する。 第2結合部が着地した時点で一時停止し、顔を2番員の方向に向け『放水始め』と呼称する。</p>	<p>第1ホースを取り出し左後方に置き、ホースの内側に入って余裕ホースを腰に取り『よし』と合図する。(腰だめする。) 1番員の『放水始め』の合図で腰だめしているホースを手から離し、右手を挙げて『放水始め』と復唱した後、手早くバルブを開いて放水する。</p>	
<p>放 水</p>	<p>第2ホースを延長し、火点付近に至る。 余裕ホースをとり、左手で筒先のノズル近くを、右手は結合部を持って基本放水の姿勢をとり、「まと」に向けて放水する。</p>	<p>バルブを開けた後、火点に走り1番員の右側に至り『よし』と合図し補助の姿勢をとる。(ホース右側)</p>	
<p>放水中止(まとが倒れると警笛2笛がなる。)</p>	<p>審査員の警笛(2笛)で『放水止め』の号令をする。2番員の『よし』の合図で、右手でノズルを握り、『よし』と合図して左手を離すと同時に左足を右足に引きつけ、筒先を右足きわに立てて姿勢を正す。</p>	<p>1番員の『放水止め』の合図で『よし』と呼称し、向きをかえ、ホースに沿って消火栓に至り、バルブを閉め、火点に向きを変え不動の姿勢で『よし』と合図する。</p>	
<p>収 納</p>	<p>審査員の警笛(3笛)で『納め』と号令し筒先を離脱しないでそのまま使用ホースを競技に支障のない位置へ移動する。(この際は、他のチーム隊員が協力する。)</p>	<p>1番員の『納め』の号令で『よし』と合図しホースを離脱する。(この際、ホースの中の水を漏らさないよう注意し、他のチームの隊員が協力する。)</p>	

<p>点検報告</p>	<p>作業終了後、待機線に集合して不動の姿勢をとった後、審査長の前5 mの位置に至り敬礼した後、『〇〇自衛消防隊初期消火訓練を終わりました。』と報告する。敬礼した後、待機線に戻る。</p> <p>『右向け右』と号令し、さらに『駆け足進め』と号令し退場する。</p>		 <p>The diagram illustrates the setup for the fire drill. A reviewer (審査長) is positioned 5 meters away from a waiting line (待機線). The waiting line is marked with points ① and ②. A fire extinguisher (消火栓) is located to the right of the waiting line, with a point 'P' marked below it. A dashed arrow points from the reviewer to point ① on the waiting line.</p>
-------------	---	--	---

メモ





電話通報要領

通報者

通信勤務員の電話対応はありません。

1. 119番をダイヤルする。 → (119番消防です。火事ですか。救急ですか。)
2. 火事です。 → (場所はどこですか。)
3. 町〇丁目〇ー〇
〇〇会社です。〇〇商会です。 → (何階建の何階が燃えていますか。)
必ず出場事業所の住所と会社名を答えること。
4. 2階厨房から出火しました。 → (あなたの名前と電話番号を教えてください。)
5. 私は、〇〇〇〇です。
電話は、〇〇局の〇〇〇〇です。 → (了解)

